



'To acknowledge the duty that accompanies every right'  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2012年5月No.360

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2011~2012)	クラブ役員 Officers
センテナルクラブ会長 : 『TEAM-共にさらなる目標を目指そう!』 東京セントラルクラブ会長 : 『ひとつとなつてYMCAへ』 国際会長 : 『とにかくやろう-成せば成る』 アジア地域会長 : 『信念をもって使命を果たそう』 西日本区理事 : 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』 中西部部長 : 『であいで愛』	会 長 : 谷川 寛 副会長 : 岡本 剛介 書 記 : 石津 雅人 会 計 : 藤原 正巳 メネット会長 : 谷川 有美子 Y連絡職員 : 鍛治田 千文

## Biblical Message of May

老人は夢を見、若者は幻を見る。

(ヨエル書 2章28節)

## May Club Meeting

『LT-leader-training』

5月第1例会

日時: 2012年5月16日(水) 18:45~20:45

場所: ホテルグランヴィア大阪21階

司会: 岡本 剛介 君

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1.開会          | 谷川 寛 会長 |
| 2.ワイズソング      | 一 同     |
| 3.聖句朗読        | 谷川 寛 君  |
| 4.今月の強調活動     | 岡本 剛介 君 |
| 5.ゲスト紹介       | 谷川 寛 会長 |
| 6.晩餐          | 一 同     |
| 7.卓話「腎臓移植の話」  | 中村 隆幸 君 |
| 8.連絡・報告・ニュース  | 各メンバーから |
| 9.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同     |
| 10.閉会点鐘       | 谷川 寛 会長 |

5月第2例会

日時: 2012年5月23日(水) 18:30~20:30

場所: 土佐堀YMCA会館4階

お誕生日: 隅田 保メン(3日)

例会担当

1班: 大村、新保、田中、山田、山中、高橋の各メン

## 震災復興イベント「東北六魂祭」について

高橋 裕也

震災から間もない昨年3月末、電通を交えて東北復興イベントの企画を練り、東北6県の祭りを結集させた「東北六魂祭」が誕生しました。

7月に実施された当イベントは企画から運営、警察への協力要請までのスケジュールがかなり短かったため多少のトラブルもありましたが、約37万人もの来場者が集まる盛大なイベントとなりました。本年も5月26日、27日と実施しますが、昨年イベント終了後に次年度実行委員の一員に任命されたため、仕事そっちのけで四方飛び回っております。

毎年、持ち回りで6県の各県庁所在地もしくは主要都心部で実施することが決まっており、来年、再来年と更なる盛り上がりを目指しております。

東北六魂祭公式ホームページにはベネフィット・ワンが協賛会社ではなく、協力会社として掲載されておりますので、是非一度のぞいてみてください。

少しでも被災された方々の励みになるべく、動き回ってきます。

(次回は芝田 光雄さんです)

## 【クラブ統計 Statistics】

12年4月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ/じゃら献金
在籍会員 23名	メ ン	17名	9名	4月 105g	4月: 20,000円
例会出席 17名	メネット	5名	0名	現 金 0円	
うちメーカー	ビジター	0名	0名	累 計	累 計: 147,893円
0名	ゲ ス ト	1名	0名	切 手 1,312g	
出席率 73.9%	合 計	23名	9名	現 金 0円	

英語の聖書には、つぎのように書かれています。

Your old men will dream dreams, your young men will see visions.  
Joel 2:28

「老人は、過去の楽しかった出来事の夢を追うが、若者は、将来のビジョンを描き、前向きな夢を追う」という意味に解釈します。ワイズも、是非、若者でありたいものです。

2月、六甲 YMCA グローバル教育研修会で開会礼拝の奨励で、この聖書の言葉を引用しました。各地の YMCA でのプログラムで奉仕してくれるユースリーダーの集まりで、この話をしました。

聖句選/コメント：谷川 寛

(今回は、大村 肇さんです)

## 4月第1例会

と き：4月18日(水) 18:45~20:30  
と ころ：ホテルグランヴィア大阪 21 階

造幣局の桜の通り抜けが始まり、まだ春の余韻を残す4月例会は、ゲストを含め23人が出席し開催されました。メインスピーチは大阪教会の岡村恒牧師＝写真。「日本人とキリスト教」と題し、世界の中で欧米諸国や日本で徐々に衰退の道をたどりながらもキリスト教の精神が私たちの生活にいかにか根強く浸透しているかをその歴史にもふれ、興味深くお話いただきました。国民の1割100万人と言われる日本のクリスチャンも礼拝に通うのは6万人。実際のクリスチャンはもっと少ない。しかし日本語になったキリスト教の言葉、たとえば使徒パウロの改心に表わされる「目からウロコ」や砂の上に家を建てる愚かさを示す「砂上の楼閣」など、日常の会話でよく使われている言葉が聖書の中にたくさんあることに驚かされます。

物質的に満たされても精神的な渇きがあるかぎり、キリスト教の教義は絶えないと確信するとともに、時折、キリスト教のことを学ぶ機会は大切だと感じました。

(中村茂高)



## 4月第2例会

おだやかに語る岡村恒牧師の見識はとても広い

と き：4月25日(水) 18:30~20:00  
と ころ：大阪YMCA土佐堀会館 406号  
出席者：石津、井上、大村、岡本、中村<sup>茂</sup>、中村<sup>隆</sup>、藤原、山田、山中の各メン

### 協議内容

- ・6月例会のスピーカー：コートジボアールの園田和子さんが5月帰国、3ヵ月滞在するので候補。(中村<sup>茂</sup>)
- ・8月1日、表コミ・茶会＝今後メネットの仕事として位置つける。

### ≡ Club Activities (April, 2012) ≡

On April 18, the club's April meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 23 Y's men, Y's menettes, and a guest in attendance.

With its emphasis on "YMCA Service and ASF" this month, Mr. Naoyuki Miura briefed the purposes and meanings of the program. Mr. Hajime Ohmura, acting president, presided over this day's meeting.

The highlight of the April meeting was the speech made by Rev. Hisashi Okamura of the Osaka Christian Church. Rev. Okamura who is also a chaplain of the Osaka YMCA, spoke about the theme, "Christianity and the Japanese" in plain terms. Citing the purpose of the YMCA movement and other interesting examples, he told us how Christianity had deeply rooted in our daily life of Japan since the lifting of the ban of Christian missionary work in 1873.

Rev. Okamura also told us about various issues Christian churches in Japan are now faced and in other advanced nations of the world as well. We could learn a lot from him, though time was rather limited for his fully instructive speech.

Yen 20,000 was collected for the club's Niko-Niko (smiling) fund.





## 香港最近事情（その2）

谷川 寛

2月訪問時の3日目。香港ワイズ新年合同例会が、自然公園を歌い文句にした新界「馬湾公園」のなかの Noah's Ark (旧約聖書に出てくるノア方舟)をデザインした大ホールでありました。150名近い香港 District のワイズメン、家族が集まりました。表彰、入会式などを除き公式行事は一切なし。ワイワイガヤガヤと大賑わいでした。日本から参加したワイズメン一行は、一年に一度の香港流楽しみ方を味わいました。



### 世界でここにしかないとの触れ込みの「ノア方舟」そっくりの大ホール

さて、1997年の返還から15年の香港。大きく変貌するなかでの今の話題は、越境妊婦の問題です。中国本土に比べて、香港の医療設備は整っています。そこで中国本土の富裕層の妊婦が大挙して香港に押し寄せ、香港の病院で出産するという現象が起こっています。生まれた子供は、香港の永住権が与えられ、しかも12歳までの学校教育は無償。香港のパスポートを取得すれば、ビザなしで渡航できる国の数は、本土のパスポートに比べ、遥かに多く有利です。本土では、いまだ家族計画があり、公には「一人っ子」政策が有効ですが、香港にはそれがありません。

そんな条件が整っているため、本土から香港への妊婦の大移動が起こっています。昨年、香港で出産して赤子10人のうちで4人が本土からの赤子だそうです。病院の妊婦用ベッドに限りがあり、そのため地元の香港の妊婦が、締め出されるという現象が起こっており、中国本土からの妊婦の入国に制限を加えるべきだ、との運動が広まっています。

中国本土からの訪問客に依存する度合いを強める香港経済にとって、痛し痒しの現象です。



2月香港3クラブ合同例会でのポヒニア・クラブの会員と当クラブ、井上ワイズ、と筆者

## YMCA ニュース

### ■ 創立記念礼拝

日時 6月2日(土) 13:30~14:15  
場所 大阪YMCA会館チャペル

### ■ 会員大会

日時 6月2日(土) 14:30~16:00  
場所 大阪YMCA会館903号室  
内容 報告 2011 事業報告 2012 事業計画  
議事 2012 基本方針・年間聖句・年間讃美歌・会員制度変更  
表彰 「奉仕の書」・継続会員表彰

### ■ J-IVY (学校に行かない中学生のまなび庭)

表現・コミュニケーション学科の取組から中学時代の大切さを再認識し、はじめた中学生クラス。まなび方を学び、コミュニケーションの練習を重ね、自分を知ることを目指しています。中学校と連携しながら進めています。

## BF 報告

山田 (100g) 新保 (5g) 合計 105g



## ☺ ニコニコ・メッセージ ☺ 【Messages from the Club Members】

- 私たちの生活の中にはキリスト教に基づくことが多くあるのはおもしろいことだと思いました。(石津 雅人)
- 悩みを持っている時に聖書の言葉に触れると少し答えがあるように感じました。最近悩み多い井上でした。(井上 文輔)
- 4月14日に無事に小浜島で結婚式を挙げることができました。人前式で行い、大切な人たちに囲まれた素晴らしい時間を過ごすことができました。ワイズでも今後ともメン、メネット共々どうぞよろしくお祈りします。(岡本 剛介)
- 今年度からIHS(国際学科)をも担当することになりました。日々緊張しています(鍛冶田 千文)
- 山中メネットのロンドン土産、クロステットクリームを賞味させて頂きました。我がメネット会自慢のスコーンにぴったりだと思います。5月にメネットの集まりを持ちます。メネット会を益々活発にさせましょう～(坂本 千春)
- 桜も散りましたが、今アレルギー性鼻炎に悩まされています。(坂本 哲朗)
- 岡村牧師様の卓話、大変勉強に、参考になりました。3月は闘病の月でしたが、もうすっかり回復致しました。また徐々にですが、クラブに少しでもやむに立てるように頑張ります。(芝田 光雄)
- ・キリスト教とはどんなものかの一端をお聞きすることができました。God=Goodなのでしょうか?  
・センテニアル落語会の会計に4,000円プラスして下さい。チケット2枚分の売り上げです。(新保 正秋)
- 岡村先生のお話を伺い、昔、神父様のお話を聞きに教会に通っていた頃を思い出しました。共同訳聖書もしまいこんだままなので、また読んでみたいと思います。有難うございました。(隅田 恵子)
- 毎回遅くなり申し訳ありません。日本人とキリスト教の話、非常に勉強になりました。(高橋 裕也)
- 3月の終わりから10日間、ミャンマーへ行ってきました。ミャンマーは仏教国、今日はキリスト教の話と改めて宗教のことを考えさせられました。(中村 隆幸)
- (岡本さん)「ちんすこう」のお土産有難う。いつまでもお幸せにね。(中村 幸枝)
- 基督教関係が我々の日常生活に如何に入り込んでいるかを明らかにされて感謝です。(福永嘉彦・滋子)

○日頃感じていたキリスト教についての疑問、岡村先生の明快なお答えで理解が進みました。それにしてもキリスト教解禁後の僅かの間に、キリスト教の考え方や習慣がわれわれの日常生活に随分深く入り込んでいることに改めて気付かされました。

(藤原 正巳)

○岡村先生の懇切なご講話はいつもながら素晴らしいものがありました。日本におけるキリスト教の歴史と使命について改めて学びました。

(松浦 孝次)

○博学多才の岡村恒牧師のお話を伺い、心がすっきりした感じがします。「吾只足知」の精神を再認識しました。

(三浦 直之)

○4月15日(日)高槻ワイズメンズクラブの30周年記念の祝会に出席しました。センテニアルクラブからは松浦さんと私の2名だけの参加でした。ワイズメンズ活動はご近所の色々のクラブ交流というのも大事な活動だと思います。自分のクラブだけの活動にとどまらず、他のクラブとの交流を通して裾野を広げることに興味を持ちたいものです。

以上一老Y's Menのつぶやきです。

(山田 孝彦)

○・中村隆幸さん、「事實は小説より奇なり」を地で行くミャンマー体験、興味深く拝聴しました。

・岡本剛介メン、メネットご結婚おめでとうございます。

今後はお仕事、Y's、有難う会、ETC各方面でのご活躍を祈念します。

(山中 秀男)

○イギリスのレント(イースター)生活そのままの実生活のあり方を聞き、又、行きたくくなりました。時差ぼけの中例会に出席させて頂き、石津さんにはご迷惑をおかけしました。

(山中 ちあき)

## 後 記

時々通う教会の話。ヨハネの21章の中、イエスが「私を愛するか」とペテロに三度問う場面で、牧師がイエスはお前を私がこんなに愛するのに、なぜおまえは気付かないのかと解釈するところがあります。その後で牧師の高尚な話の雲行きが突如怪しくなり、この教会も古くなり、信徒も高齢化を迎えうんぬんと、やや世俗的な愚痴っぽい話になってきました。牧師は「そこで、私はこんなことを考えるのは一切やめることにした」と最後に開き直りましたが、毎日曜の説教のみならず、教会、併設する幼稚園の経営とそご苦勞や想像に余りあります。とても人間的な牧師に共感を覚えるとともに、自分もまた、仕事や私事に日々悩む姿に気づかされます。

(中村 茂高)

